

第1学年1組 国語科学習指導案

令和4年11月15日(火) 第4校時

- 1 単元名・教材名 オリジナル自動車図鑑を作って、家の人に紹介しよう
「じどう車くらべ」
- 2 児童の実態と本単元の意図
 - (1) 児童の実態

(略)

(2) 本単元の意図

本単元は学習指導要領〈知識及び技能〉(2)「ア 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること」と、〈思考力、判断力、表現力等〉の「ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること」、「ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと」を受けて設定している。

身に付けさせる資質・能力

- ・ 事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉える力
- ・ 事柄の順序に気をつけながら、文章中の重要な語や文を考えて選び出す力

指導にあたっては、三つの段階で学習を展開していく。

第一次では、身近なところで働く自動車について考えていき、本単元への意欲につなげる。また、「自動車図鑑を作って家の人に紹介する」という最終目標を提示することで、自動車図鑑を作っていくためには、「じどう車くらべ」を読んで、文章を学ぶ必要性に気づかせ、意欲を喚起させたい。教科書の文章をもとにして、まとめる学習は、「くちばし」で行っているため、そのときの学習を想起させる声かけもしていきたい。身の回りには、様々な自動車があることに気づかせ、「自動車図鑑を作ろう」という複合単元の学習への意欲を十分高めていきたい。

第二次では、教材文「じどう車くらべ」を読み取っていく。「しごと」と「つくり」の二つの問いがあること、答えも二つに分かれていることに気づかせていく。毎時間、授業の始めに、問いの文を確認し、問いの文と同じ順番で答えの文が並んでいることについても触れていく。さらに、「そのために」という言葉の意味を理解させるために、書かれている「つくり」は全て「しごと」のためのものであり、「その」が指すものは、「しごと」だということに気づかせたい。カード作りへ抵抗なく入ることができるように、文章の構成と、「しごと」のための「つくり」が書かれているということを押さえて、第三次の自動車図鑑作りへつなげたい。

第三次では、「じどう車くらべ」の文章をもとにして自分で自動車図鑑を作っていく。本やICTを活用して、「しごと」と「つくり」を見つけさせ、自分の力で自動車図鑑を作らせたい。「じどう車くらべ」での問いの文や文章の構成など、教科書の内容を振り返りながら進めていく。ここでも、「しごとのためのつくり」ということを意識させていく。本から「しごと」や「つくり」を見つけることが困難な児童には、どんなつくりになっているのか、写真や絵、児童の知識から考えさせて気付かせたい。また、作成した自動車図鑑は、友達との交流を通して、さらにレベルアップさせて家の人に自信をもって見せられるようにさせたい。

3 研究主題との関わり

研究主題『確かな学力と豊かな心を育てる国語教室』
～生きて働く力を育てる指導法の工夫～

本研究で目指す「確かな学力と豊かな心が育っている児童」とは、「生きて働く力を身に付けている子」である。「生きて働く力」とは、「学習の基本となる確かな国語力を身に付け（語彙力）、自分の思いや考えを、伝え合いや学び合いを通して広げ深める力（表現力）」と考える。そのためには、児童の実態を正しく把握し、年間を通して確実に指導事項を身につくように、単元を通して付けたい資質・能力を見極め、言語活動を通して指導していく。

そこで、本単元では、次のような手だてを考えた。

仮説①

単元を通して付けたい資質・能力を明確にし、その力を付けるための言語活動を設定する。言語活動（学習のゴール）に向けて、主体的に学び、学ぶ楽しさを味わうことにより、生きて働く力が育つであろう。

〈手だて〉 ○毎時間文章を読み取ったことをじどう車カードにまとめる活動

「オリジナル自動車図鑑を作って家の人に紹介する」という学習のゴールに向けて、主体的に学ぶ手だてとして、毎時間文章を読み取ったことを自分の力でじどう車カードにまとめる活動を設定する。じどう車ごとに「答え①」（しごと）と「答え②」（つくり）が書かれている。この関係性に気づかせるために、①に赤線、②に黒線を引かせ、挿絵のどの部分に当たるのか丸を付けさせる。線や丸の箇所を写真や模型を使ったり、動作化を取り入れたりしながら理解を深め、カード作りへ入る。このような活動を通して、主体的に学び、学ぶ楽しさを味わうことができるであろうと考える。

仮説②

単元を通して、相手意識・目的意識をもった学習活動を工夫する。協働的に学び合う場を設定し、互いの思いや考えを主体的に伝え合い、考えを深めることにより、生きて働く力が育つであろう。

〈手だて〉 ○友達と考えを伝え合い、見方・考え方を広げるための場の設定

毎時間、自分の意見を決める際に、自分の考えをペアや全体で交流する場を意図的に設定し、自分の考えと他の児童の考えを比較させるようにする。本時では、クレーン車の「しごと」と「つくり」について読み取っていく。「じょうぶな」「のびたりうごいたり」「車たいがかたむかないように」など、一つ一つの言葉に着目して、なぜそのようなつくりなのかを考えさせていく。その際に、模型を活用したり、動作化をしたりして、そのつくりがなかったらどうなるのかを予想させながら「しごと」のための「つくり」になっていることをおさえていきたい。毎時間の学習が、第三次の自動車図鑑作りにつながるように「しごと」と「つくり」のつながりを大切に扱っていく。このような活動を通して、互いの思いや考えを主体的に伝え合い、考えを広げ深めることができるであろうと考える。

4 単元の目標

(1) 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。

〈知識及び技能〉(2) ア

(2) 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。

〈思考力、判断力、表現力等〉C (1) ア

(3) 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。

〈思考力、判断力、表現力等〉C (1) ウ

(4) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合うとする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

5 本単元で取り上げる言語活動

自動車の「しごと」と「つくり」を説明した文章を読み、分かったことを「じどう車カード」にまとめる。 (関連：C読むこと 言語活動例 ア)

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ((2)ア)	①「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 (1)ア) ②「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 (1)ウ)	①文章を読んで感じたことや分かったことを進んで共有しようとしている。

7 単元の指導と評価の計画 (全12時間)

次	時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1	1	○身の回りにある自動車について話し合う。 ○学習計画を知る。 ○自動車カードを見て、単元のゴールを確認する。	○自動車の役割 ○単元の見通し ○学習計画の立て方	○教科書28ページの挿絵を参考にして、身の回りにある自動車について考えさせる。 ○「しごと」だけではなく「つくり」についても押さえていくことを確認させ、教師が作った自動車カードを見せ、意欲を喚起させる。
	2	○「じどう車くらべ」を読んで、初発の感想を書く。	○初発の感想の持ち方・初めて知ったこと、心に残ったこと、不思議に思ったこと ○感想の交流	○感想を書く観点を示してから書かせるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度①】 ノート ・感想を書く観点を示し、様々な角度から感想を書けるように声をかける。
	3	○問いの文を見つける。 ・一人学び ・全体で考察	○二つの問いの文の見つけ方 ・問いの文①「どんなしごとをしていますか。」 ・問いの文②「そのためにどんなつくりになっていますか。」	○問いの文を見つけさせる際には、「どんな」という言葉や文末の「いますか。」という問いかけになっている部分に着目させる。 【知識・技能①】 ノート ・問いの文を見つけているか確認する。
		○事例1のバスと乗用車の「しごと」と「つくり」を読み取る。 ・一人学び ・ペア交流 ・全体で考察	○バスと乗用車の「しごと」と「つくり」 ・人をのせてはこぶしごと ・ざせきのところがひろくなっている。 ・そとのけしきがよく	○なぜその「つくり」になっているのか、「しごと」と関連付けて考えさせる。 ○「つくり」の前にある言葉に注目させることで、「そのために」とい

2	4		<p>見えるように大きなまどがたくさんある。</p> <p>○文章構成の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「そのために」の役割 	<p>う言葉は、「しごと」と「つくり」をつなぐ言葉であることに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思考・判断・表現①②】</p> <p>プリント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み取ったことを自動車カードに記入しているか確認する。 </div>
	5	<p>○事例2のトラックの「しごと」と「つくり」を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人学び ・ペア交流 ・全体で考察 	<p>○トラックの「しごと」と「つくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にもつをはこぶしごと ・うんてんせきのほかはひろいにだいている。 ・おもいにもつをのせるトラックには、タイヤがたくさんついている。 <p>○文章構成の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「そのために」の役割 	<p>○なぜその「つくり」になっているのか、「しごと」と関連付けて考えさせる。</p> <p>○「つくり」の前にある言葉に注目させることで、「そのために」という言葉は、「しごと」と「つくり」をつなぐ言葉であることに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思考・判断・表現①②】</p> <p>プリント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み取ったことを自動車カードに記入しているか確認する。 </div>
	6	<p>○事例3のクレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人学び ・ペア交流 ・全体で考察 	<p>○クレーン車の「しごと」と「つくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもいものをつり上げるしごと ・じょうぶなうでがのびたりうごいたりするようにつくってある。 ・車たいがかたむかないように、しっかりしたあしがついている。 <p>○文章構成の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「そのために」の役割 	<p>○なぜその「つくり」になっているのか、「しごと」と関連付けて考えさせる。</p> <p>○「つくり」の前にある言葉に注目させることで、「そのために」という言葉は、「しごと」と「つくり」をつなぐ言葉であることに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思考・判断・表現①②】</p> <p>プリント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み取ったことを自動車カードに記入しているか確認する。 </div>
	本時	<p>○どうして3種類の自動車は、この順序で説明されているのかを考えよう。</p>	<p>○事例の順序の考察</p> <p>○構成の意図</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「バス、乗用車」、「トラック」、「クレ 	<p>○身近なものから順に登場していることに気付かせた上で、この順だとよいわけを考えさせる。</p>

	7		ーン車」の順がよいわけ	<p>○3つの自動車の説明は、全て「しごと」、「つくり」の順になっていて、「そのために」でつながれていることを再度確認させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【知識・理解①】 プリント ・3種類の自動車の順序のよさについて自分なりのわけが書けているか確認する。</p> </div>
3	8	○はしご車の「しごと」と「つくり」を考える。	<p>○はしご車の「しごと」と「つくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火事の時に高い所で逃げ遅れた人を助けるしごと ・伸びたり縮んだりする長いはしごがついている。 ・車体が傾かないように丈夫な脚がついている。 <p>○自動車カードへの書き方</p>	<p>○絵や写真、もっている知識を活用して、「しごと」と「つくり」を考えさせる。</p> <p>○「しごと」に合わせた「つくり」を選択して書かせるようにする。</p> <p>○「そのために」でつなぐことを押さえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【知識・理解①】 プリント ・既習事項を活かして書いているか確認する。</p> </div>
	9	○自動車図鑑の作り方を確かめて、図鑑にする自動車を決める。	<p>○自動車図鑑の書き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車のしごと ・そのためのつくり①、つくり② 	<p>○自動車図鑑に書くことは、「しごと」と「しごとのためのつくり」であったことを確認させる。</p> <p>この2点を書くことができる自動車に決めるようにさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【主体的に学習に取り組む態度①】 ノート 様々な本やICTを活用しながら図鑑にしたい自動車を決めることができるように声をかけて見届ける。</p> </div>

10	○選んだ自動車の「しごと」と「つくり」を調べて文にまとめる。	○自動車図鑑作り ・自動車のしごと…選んだ自動車の役割 ・自動車のつくり…しごとをするためのつくり（2つ見つける。）	○「しごと」と「つくり」に分かれていない本も多いので、前時の学習を想起させながら、机間指導を丁寧に行う。 ○書きたい自動車の「しごと」と「つくり」が書かれていないといった状況があれば、写真や児童の知識から導き出させる。 【知識・理解①】 プリント ・既習事項を活かして書いているか確認する。
11	○「しごと」、「つくり」の順で自動車図鑑を書こう。	○自動車図鑑作り ・自動車のしごと ・そのためのつくり①、つくり②	○「しごと」と「つくり」は、違う内容であることを押さえ、まとまりが分かるように書き表し方を工夫させる。 【思考・判断・表現①②】 プリント ・学習したことを活かして自動車カードに記入しているか確認する。
12	○友達と自動車図鑑を読み合って、感想を伝え合う。 ○学習の振り返り	○意見の交流の仕方 ○図鑑への付け足し ○学習のまとめ	○友達との交流を通して、自分や友達の文章のよさに気付くようにさせる。 ○交流の前や後に手直しの時間を確保し、家の人に自信をもって見せられるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度①】 交流の様子 交流を通して、友達に文章のよさを伝えたり、自分の文に付け加えたりしているか確認する。

8 本時の展開（6 / 12時間）

（1）目標

- ・クレーン車の「しごと」と「つくり」に当たる重要な語や文を考えて選び出すことができる。
〈思考力、判断力、表現力等 C（1）ウ〉

- ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、クレーン車の「しごと」と「つくり」を捉えることができる。 〈思考力、判断力、表現力等 C(1)ア〉

(2) 評価規準

- ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、クレーン車の「しごと」と「つくり」を捉えている。 【思考力、判断力、表現力】

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導と評価の創意工夫	時間
1 既習の漢字を読む。	○既習の漢字の読み	○本単元で学習する漢字を正しく読ませる。	1
2 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	○前時までの学習内容 ○本時の課題と学習の見通し	○本時も問いに対する答えを見つけていくため、問いの文を確認する。 ○前時までの学習を掲示しておき、文章の構成を確認できるようにしておく。 ○本時の学習の見通しをもたせる。	2
クレーン車の「しごと」と「つくり」をよみとろう。			
4 本文を音読する。	○音読の仕方	○「しごと」と「つくり」という言葉に着目させて本文を読ませる。	2
5 「しごと」と「つくり」を読み取る。 ・一人学びをする。 ・ペアで伝え合う。	○「しごと」と「つくり」の調べ方 ・「しごと」…赤線 ・「つくり」…黒線 ・挿絵の「つくり」に丸を付ける。(ペア交流)	○教科書の本文にサイドラインを引かせる。 ○サイドラインの確認をした後、ペアになって教科書の挿絵の「しごとのためのつくり」に丸を付けさせる。	2 3
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>〈予想される児童の反応の例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車のしごとは、おもいものをつり上げるしごと。 ・じょうぶなうでがのびたり、うごいたりするようにつくっている。 ・車たいがかたむかないように、しっかりしたあしがついている。 ・うでは、きいろやはいろののびているぶぶんかな。 ・あしは、下のはいろのぶぶんかな。4つありそうだね。 </div>			

<p>・全体で交流をする。</p>	<p>○クレーン車のつくりの理解</p>	<p>○クレーン車の模型や挿絵を提示して、「丈夫なうでが伸びたり動いたりすること」、「しっかりしたあしがついていること」を動作化をさせながらとらえさせる。</p>	
<p>〈予想される児童の反応の例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間ではないのに、うでやあしという言葉を使うんだね。 ・じょうぶなうでがなかったら、重い荷物をつり上げられない。 ・うでがのびたり、うごいたりしなかったら、荷物を動かさない。 ・タイヤだけだと荷物の重さに負けて、潰れてしまう。 ・しっかりしたあしがあるから、荷物をつり上げられる。 		<p>○「そのために」という言葉は、しごととつくりをつないでいる言葉であることを押さえる。</p>	
<p>6 本時のまとめをする。</p>	<p>○学習内容のまとめ</p>	<p>○本時の学習で学んだことを自分の言葉でまとめさせる。</p>	<p>1 2</p>
<p>〈予想される児童のまとめ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車のしごとは、おもいものをつり上げるしごとです。 ・じょうぶなうでがのびたり、うごいたりするようにつくってあります。車たいがかたむかないように、しっかりしたあしがついています。 		<p>〈評価場面〉 【思・判・表】 〈評価方法〉 行動、記述 ・クレーン車の「しごと」と「つくり」を記入することができた児童をB評価とする。 〈努力を要する状況（C）への手だて〉 ・しごととつくりを記入することができない児童には、サイドラインを引いた場所を確認させる。 ・クレーン車ができること（しごと）と挿絵に丸をつけた「しごと」のための「つくり」を振り返らせる。</p>	
<p>7 本時の学習活動を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</p>	<p>○本時の学習の振り返り</p>	<p>○振り返りの視点を示して、自分が書きたいことを選んで書かせる。</p>	<p>5</p>
<p>〈期待される児童の振り返り〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車は、おもいものをつり上げるしごとをするから、じょうぶなうでやしっかりしたあしがついているとわかった。 ・クレーン車は、おもいものをつり上げるから、車たいがかたむかないように、しっかりしたあしがついていることがよみとれた。 			
	<p>○次時の学習の見通し</p>	<p>○次時は、「はしご車」について学習していくことを確認する。</p>	

<p>ふ</p> <p>ふりかえりの視点</p>	<p>つくり</p>	<p>そのために</p>	<p>しごと</p>	<p>ま</p>  <p>児童から出た意見 ・じょうぶなうでがなかったらおもいものをつりあげられない。 ・あしがなくて、タイヤだけだったらもつのおもさにまけてつぶれてしまう。</p>	<p>教科書の文</p>	<p>め</p> <p>クレーン車のしごととつくりをよみとろう。</p>	<p>じどう車くらべ</p>
--------------------------	------------	--------------	------------	---	--------------	--------------------------------------	----------------